

奄美野生生物保護センター  
ニュースレター

# 奄美の風だより



奄美大島では1ヶ月以上もまとまった雨が降りませんでしたが、8月中旬にやっと待ちに待った雨が降りました！雨が降ったり止んだり、じめっとした空気。不快指数は高いですが、奄美らしい天気に戻り安心しました。台風も近くを通っただけですが、少しは海水温が下がったでしょうか。この夏の異常気象は、生きものたちにどのような影響を与えるのでしょうか。秋は例年通りの気候になってほしいものです。

さて秋は実りの季節ですが、今年のドングリの状況はどうなっているのでしょうか。昨年と一昨年は不作でした。今年の夏は高温少雨だったので、また少ないのでしょうか？少なければ山の生きものたちはどうなるのか、イノシシの被害がまた増えるのか、といろいろな心配があります。しかし、一般的に樹木は、高温で乾燥した夏の翌年は、開花・結実が多くなるそうです。その理由は、高温や乾燥が花を作る組織を活性化させるためだそうです。なるほど、一概に「高温少雨」イコール「植物にマイナス」の影響ではないですね。しかし、花がたくさん咲いても花粉を飛ばす時期に雨が多いと飛散量が減り、その結果、結実量が減ること。なかなか難しい…、やはり「実り」は簡単なことではないですね。今年はどうなるのでしょうか。職員の話では、シイの実は見えたが、中身が入っているかは分からること。人にとっても生きものたちにとっても実りの秋になってほしいものです。

(吉田)



# 今の時期に見られる動植物



イタジイ（実）

奄美大島以南に分布。本州などに生育するスタジイの地理的亜種。葉の裏が白っぽい赤茶色をしている。



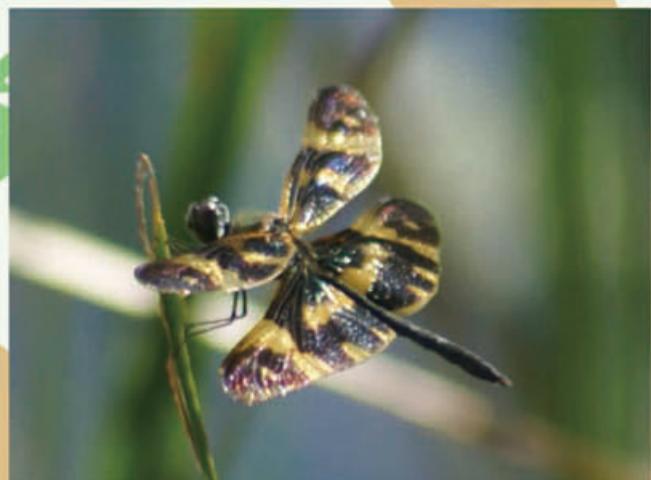
シロシャクジョウ

山地の林内に生える腐生植物。6cm弱とても小さい。同じ仲間で、青紫色をしたルリシャクジョウもある。



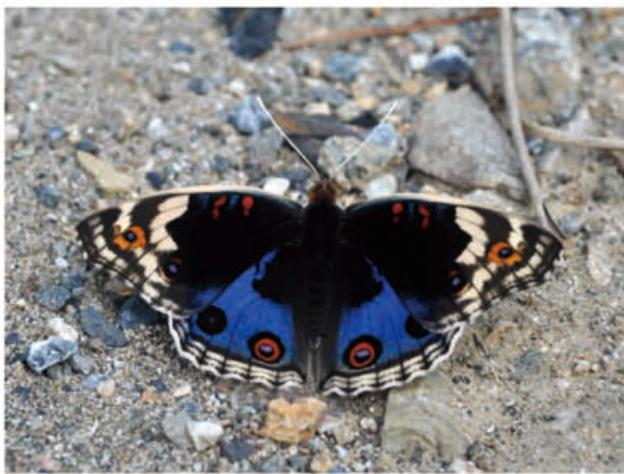
ヒメスズメバチ

アシナガバチの仲間を専門に襲い、その幼虫や蛹を略奪し、自分たちの幼虫への餌とする。奄美に棲むスズメバチの仲間では最も大きい。



オキナワチョウトンボ

奄美大島・喜界島以南に分布。植生の多い池沼などに生息する。羽がべっ甲の模様に似ているためベッコウトンボとも呼ばれる。



## 今季の一枚 「アオタテハモドキ」

日本では近年、チョウの北上が多く確認されています。そのうちの一つアオタテハモドキは、八重山諸島では定着していて、奄美群島でも見ることができます。定着はしていないそうです。定着していないものは、台風などで北上してきますが、今年は台風が少ないせいなのか、奄美大島ではあまり見ることがありません。他の島々ではどうでしょうか？

日本で見ることが出来ない美しいチョウを普通に見られるのは嬉しいことですが、その原因が温暖化による種類もいるということなので、心から喜ぶことが出来ません。チョウが教えてくれる、地球の変化。見逃さずに注視していくことが大事なのだと思います。



# 奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。



今回は

## 宇検村

です



焼内湾全景

宇検村は奄美大島の中南西部西岸に位置し、深い入り江の焼内湾に 14 の集落が形成され、奄美群島最高峰の湯湾岳 694mなど大自然に囲まれた村です。

### 宇検村の木



### [イジュ]

耐シロアリ性に強く、昔から建築用材として重宝され使われてきた。穀物を収納する高倉の柱などとしてイジュの木が使用されていた。



おすすめ

### 観光名所「湯湾岳/屋鈍海岸/アランガチの滝」



湯湾岳



湯湾岳登山道

も大切に守っていかなければいけません。

### 【屋鈍海岸】

枝手久島（無人島）を目の前にエメラルドグリーンの海と真っ白な砂浜が広がり、海中のサンゴ礁の隙間には色鮮やかな熱帯魚たちが群れをなして泳いでいるのを見ることができます。ゴーグルを片手にスノーケリングを体験してみてはいかがですか？トイレ・シャワー施設は完備されています。また、宇検村湯湾より車で約 35 分と少し遠く感じますが、行ってみる価値は充分にあります。

### 【アランガチの滝】

湯湾岳から流れる豊富な水と深い山々が存在し、滝の落差はおよそ 30m。暑い夏でも爽やかな風が流れる場所で、緑の木々の合間から流れ落ちる水しぶきは圧巻です。「ケンムン」が棲むと言われる立派なガジュマルの木も近くにあり大自然のエネルギーを感じられます。

アランガチの滝



(宇検村 企画課)



# いきもののいる風景

～交通事故について～

奄美に生息する野生動物たちは、人間の活動によるさまざまな脅威にさらされています。今回は、野生動物たちにおこっている問題の一つである「交通事故」を特集したいと思います。

## 交通事故にあう動物たち

道路は、山の中などもともと野生動物が生活する場所にも多く作られています。そのような場所では、交通事故にあう危険は人だけではなく野生動物たちも一緒です。これまでの例を見ると、交通事故は陸で生きるあらゆる野生動物たちに共通の問題であることが分かります。



アマミノクロウサギ

イボイモリ

アマミハナサキガエル



トクノシマトゲネズミ

ウグイス

シリケンイモリ



### 交通事故の他に、野生動物を脅かす問題はどんなものがあるのでしょうか？

主な問題として、森林伐採、外来生物、乱獲などが挙げられます。野生動物を脅かす原因のほとんどに人が関わっています。私たち一人一人が自然に対する意識を変えていくことが、問題解決のための「第一歩」と言えます。



外来生物

フィリミングース

森林伐採

赤土

乱獲

エドキンケイギク

## 交通事故を減らそう

まず、道路は野生動物も利用するということを知りましょう。野生動物にとって道路は生活の場の一つです。特に、視界の悪い夜間から早朝は気を付けましょう。



日向ぼっこ中です



お食事中です。



移動中です。



ぼーっとしています。

ぼくたちも、  
道路を使うことを  
忘れずにいてね！

横断するところです。

山道は人が利用することは少ないので、少し安心して運転できるかもしれません。山道だからこそ、野生動物が多く利用します。これからは、野生動物にもやさしい運転を心掛けてみませんか？



これからは、道路上によく出  
てきます！特に、気を付けて運転し  
てくれたら嬉しいです。  
(By Amami  
Nokuro Uzagi)



STOP!! 交通事故  
野生動物たちにとって  
やさしい運転を

とまってくれて  
ありがとう

## 道路看板

野生動物の横断を注意する看板が各島にあります。看板がある所は、特に注意して運転しましょう。

徳之島



喜界島



蝶に超注意!

奄美大島



写真提供：奄美マングースバスターズ、高美喜男

